



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo. 表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

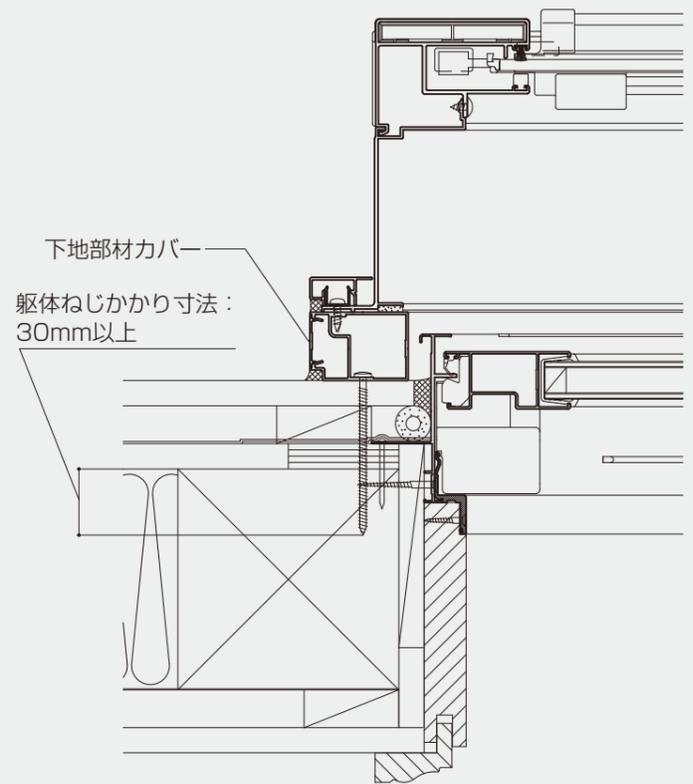
▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●シャッター本体の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。

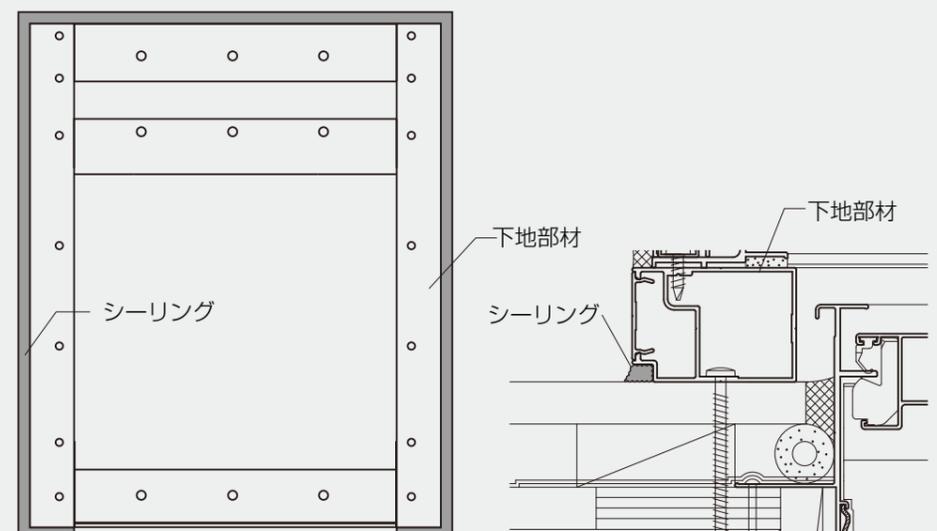
- ・本製品は木造・RC造用です。躯体が木造・RC造であることを確認してください。RC造に取付ける場合、別途、RC造用ねじセット(別売品)を手配してください。
- ・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。図面のない場合は壁をはがすなどの方法により柱の有無を確認して取付けてください。
- ・下地部材取付けねじはリフォーム枠に入っています。必ずφ4.2×75コースレットねじで取付けてください。
- ・同梱のドリルねじは下地部材の取付けに使用しないでください。
- ・ねじは必ず、躯体に2.4N・m {24kgf・cm} 以上のトルクで締めつけてください。
- ・躯体へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
- ・製品の強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。
- ・下地部材カバーが外れていないか取付け前、取付け後、必ず確認してください。



▲注意

- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・本製品を取付ける前に必ずサッシの周囲にシーリングされていることを確認の上、取付けてください。
- ・躯体へのねじ固定は必ずφ3.5のドリルで外壁に下穴をあけてから行ってください。又ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんした後行ってください。
- ・本製品を取付ける際は必ず指定の箇所へシーリングをしてください。
- ・下地部材まわりへのシーリングを行う前にコーキング材がきちんとのるように下地処理を必ず行ってください。

【シーリング必要位置】



■取付け上へのお願い

- 本製品のうち、サッシ枠の組立て及び取付けは、一般サッシを取付けされる方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の取付け範囲には含まれません。
- リフォーム枠の取付けについては、リフォーム枠取付け説明書をご覧ください。
- 台風ポールを採用される場合
 - ・リフォーム枠を取付ける前に下地部材を補強します。台風ポールの取付けについては、「台風ポール 取付け説明書」をご覧ください。

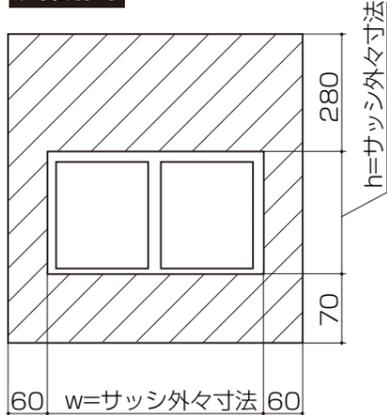
■ 躯体・外壁材・開口部の確認

● 下地部材を取付ける前に下記の内容を確認してください。

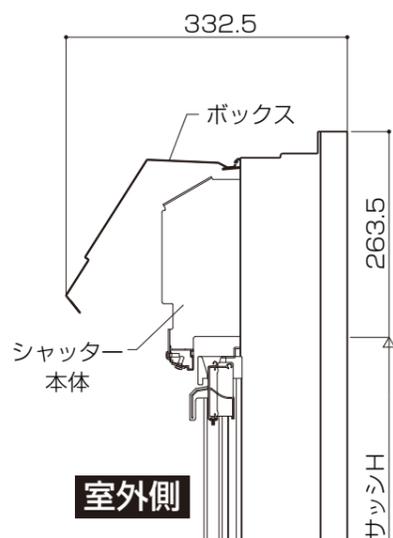
1. 下地部材(リフォームシャッター)を取付けるスペースがありますか。本製品を取付けるためには下図(シャッター取付け範囲)斜線部のスペースが必要です。
※開き窓タイプ・RC造の場合、取付け範囲が大きくなりますのでご注意ください。
2. 外壁厚みは45mm未満になっていますか。45mm以上ある場合は取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。
3. 外壁の種類は窯業サイディング・金属サイディング・モルタル壁・RCですか。その他の外壁には取付けできません。
4. 下地部材取付け面からのサッシ出寸法(網戸含む)は105mm以下ですか。105mm以上ある場合は取付けできません。
5. 下地部材固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合は取付けできません。外壁部分だけで固定することは絶対行わないでください。
6. リフォームシャッター(下地部材付き)出幅方向で何かに当たりませんか。シャッターボックスの出寸法はボックス別に下図に示します。シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースを確保してください。
7. 下地部材取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。
8. 下地部材取付け面に突起物はありませんか。突起物がある場合は取付けできません。
9. 下地部材取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合は取付けできません。

■ シャッター取付け範囲

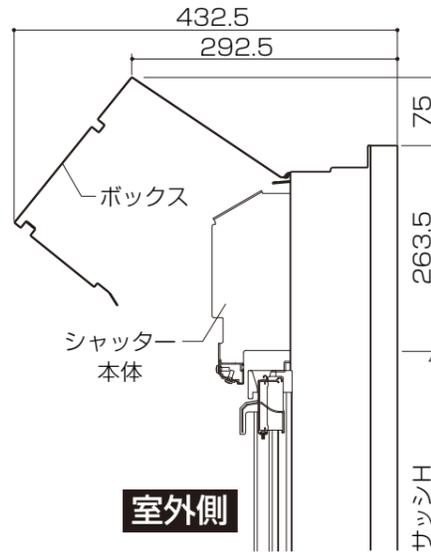
■ 外観図



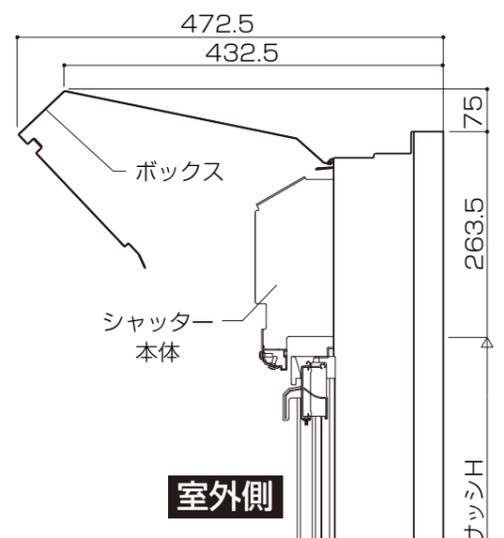
■ S型ボックス



■ D型ボックス



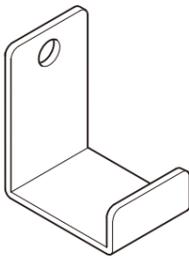
■ H型ボックス

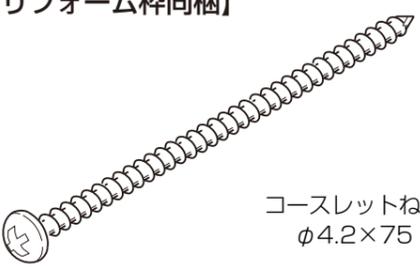
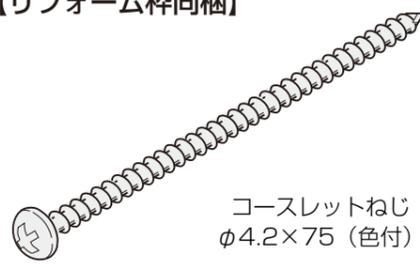


■ 取付け完了時の確認

● 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

■ 使用部品・ねじ一覧

①	②	③	④
			
ナベドリルねじ φ4×13	ナベドリルねじ φ4×19 (色付)(水切り取付用)	位置決め金具	皿タッピンねじ φ4×35

⑤	⑥
	
【リフォーム枠同梱】 コースレットねじ φ4.2×75	【リフォーム枠同梱】 コースレットねじ φ4.2×75 (色付)

■取付け順序

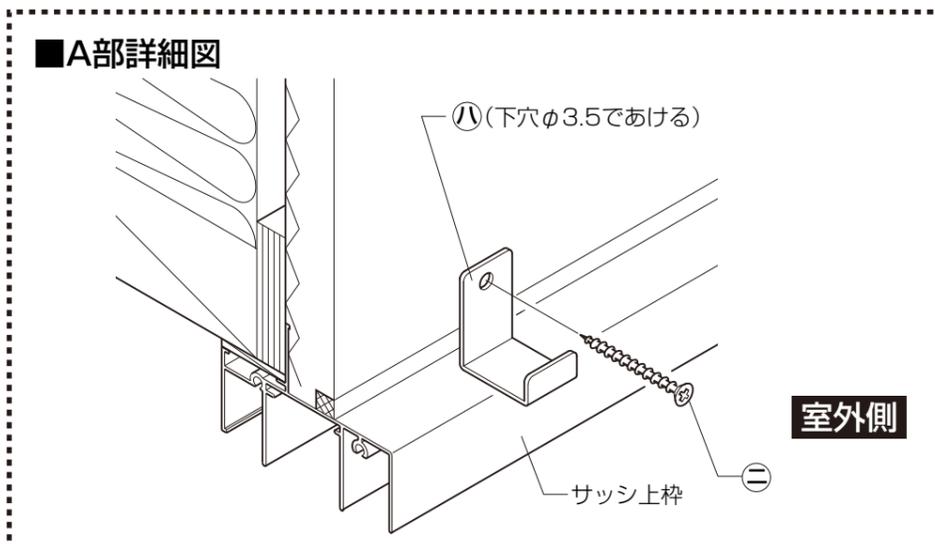
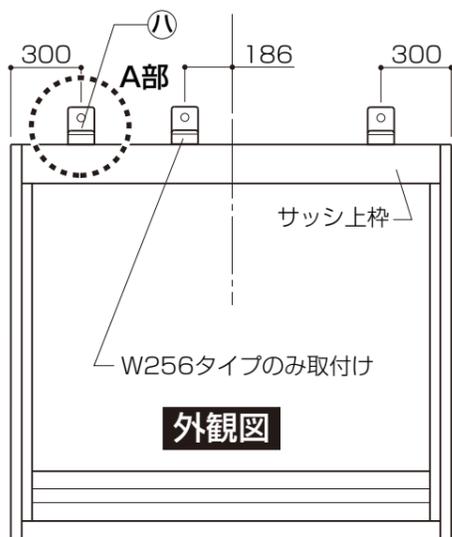
■1 位置決め金具の取付け

①Ⓐ位置決め金具をサッシ上枠の上にのせ、下図の位置に合わせ、取付け穴にあわせて下穴をけがきます。

②けがきに合わせて壁面にφ3.5のドリルで、下穴をあけコーキング材を充てんしてください。

③Ⓒ皿タッピンねじで固定してください。

※開き窓タイプの場合は位置決め金具を使用せず、サッシの下枠に下地部材の上端をあてて下地部材を取付けてください。



■2 下地部材の取付け

①下地部材をⒶ位置決め金具に引っ掛けます。

②左右のチリを合わせた後、水平・垂直を確認します。

③取付け穴に合わせて下穴をけがきます。

④一度、下地部材を外壁から外し、けがきにに合わせて壁面にφ3.5のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんします。

⑤再度、①、②を行なった後、リフォーム枠と同梱されているⒹコースレットねじφ4.2×75で躯体に取付けます。

※柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。

【台風ポールを取付ける場合】

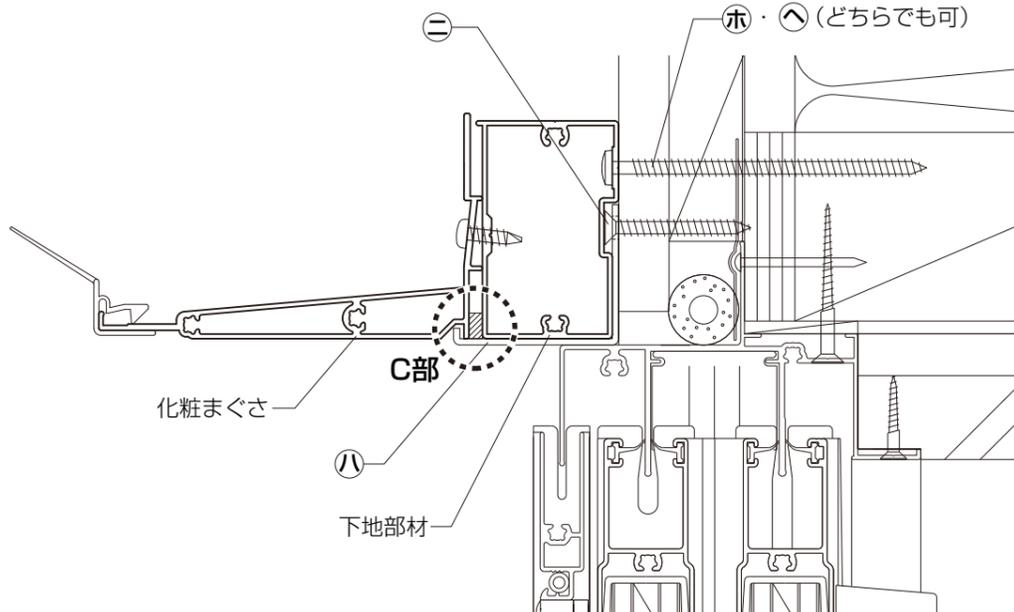
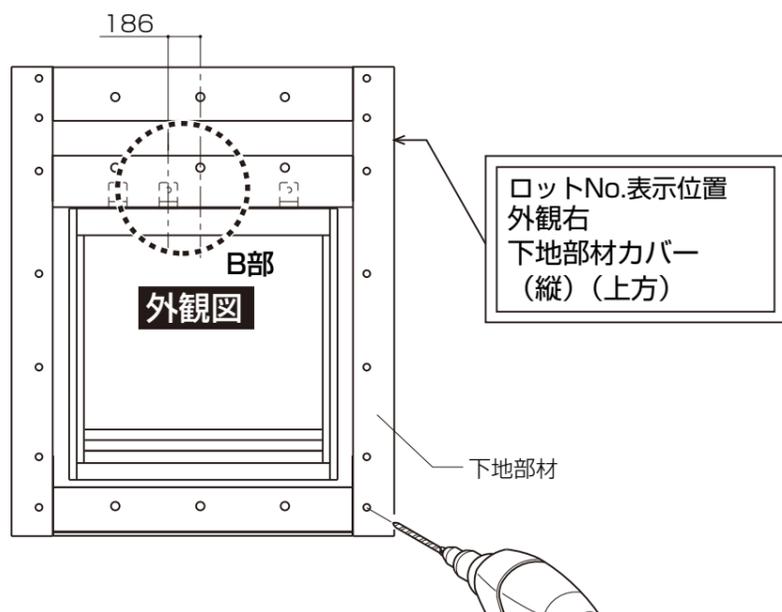
※台風ポールを採用される場合は、下記の手順で下地部材の補強をお願いします。

①下地部材の中心から外観左へ186mmの位置を基準としてB部詳細図の位置にφ4.5のドリルで4箇所貫通穴をあけてください。

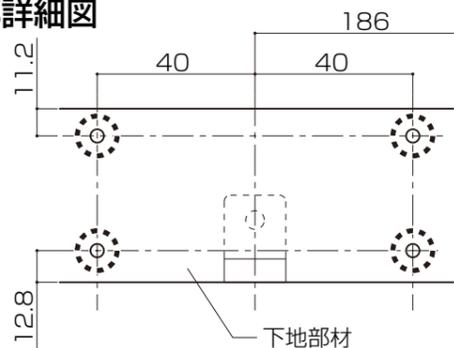
②貫通穴の室外側の穴のみをφ10のドリルで広げてください。

③下穴にコーキング材を充てんし、台風ポールと同梱されているコースレットねじφ4.2×75で躯体に取付けます。

※取付けねじの位置に躯体がない場合は、躯体のある位置に下穴をあけ直し、確実に固定してください。

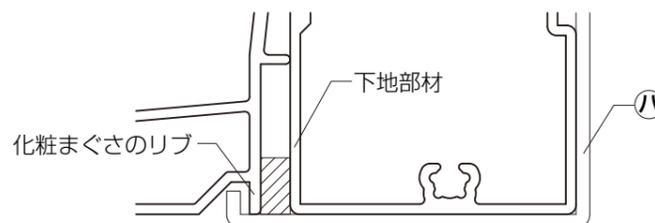


■B部詳細図



■C部詳細図

●化粧まぐさのリブをⒶ位置決め金具に引っ掛けます。
※開き窓タイプの場合を除きます。



■3 リフォーム枠の取付け

●リフォーム枠の取付けについてはリフォーム枠取付け説明書の下記項目をご覧ください。

四方先組みの場合：③以降

部材現場付の場合：①以降

この際リフォーム枠の取付けは、本製品に同梱されているナベドリルねじ(④)、(⑤水切り取付用)をご使用ください。

※化粧まぐさのリブにⒶ位置決め金具を引っ掛けて位置決めします。(開き窓タイプの場合を除きます。)

■4 下地部材まわりのシーリング

●リフォーム枠取付け後、リフォーム枠と同様下地部材へも指定の箇所へシーリングしてください。